

こたえ 雨水のゆくえ

ひょうじゅん
標準 ②

雨水のゆくえ

雨がふった後、校庭のあちこちに水たまりができています。水たまりは、どんなところにできるのでしょう。

地面に流れる雨水は、高いところから低いところへと流れていきます。そのため、水たまりは、まわりより低くなったところにできやすいのです。

また、同じ雨がふっても、すぐに水がしみこむ場所と、なかなかしみこまない場所があります。そのちがいは、土のつぶの大きさにあります。

すな場のすなのように、つぶの大きい土は、つぶとつぶの間のすき間が大きいので、水がすぐにしみこみます。反対に、粘土ねんどのように、つぶの小さい土は、すき間が小さいので、水がしみこみにくく、水たまりができてやすいのです。

雨の後に、校庭を見て歩くと、地面のかたむきや土のちがいに気づくことができます。水がしみこみやすいように、すなをまいたり、みぞをほったりして、水はけをよくしている校庭もあります。

1

雨水は、どのように流れますか。

ア

低いところから高いところへ

イ

高いところから低いところへ

ウ

いつも東から西へ

2

水がしみこむ速さのちがいは、土の何の大きさにありますか。

土の



の大きさ

3

つぶの大きい土に、水がすぐにしみこむのは、どうしてですか。

つぶとつぶの間のすき間が大きいから。

4

水たまりができてやすいのは、どんなところですか。

ア

まわりより高く、つぶの大きい土のところ

イ

まわりより低く、つぶの小さい土のところ

ウ

すな場の中

おうちの方へ

- 雨の後に、実際に校庭や公園の水たまりの場所を観察してみましょう。